

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	中枢神経系理学療法学演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	302 他
担 当 教 員	福代 佳人 神田 一路	実務経験と その関連資格	理学療法士として回復期病院に勤務。			
《授業科目における学習内容》						
病院や地域を想定した中枢神経系疾患に対して、対象者の自立生活を支援するために必要な課題解決能力(理学療法実践力)を培う。						
《成績評価の方法と基準》						
授業態度、課題レポート、筆記試験の総合評価とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準理学療法学 神経理学療法学 ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版						
《授業外における学習方法》						
事前に指定テキストを読んでおく。授業後、内容の確認をしておく。						
《履修に当たっての留意点》						
授業中に口頭試問等行う。適宜小テストを行う。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	症例提示より、必要な検査項目を列举できる	テキスト、配布資料	臨床推論について、事前に疾患の知識を復習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	中枢神経障害の理学療法の実際(症例1)			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	検査測定結果より、重要課題の抽出とその理由が述べられる	テキスト、配布資料	臨床推論について、事前に疾患の知識を復習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	中枢神経障害の理学療法の実際(症例1)			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	課題解決のための資料・文献を収集することができる	テキスト、配布資料	臨床推論について、事前に疾患の知識を復習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	中枢神経障害の理学療法の実際(症例1)			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	集取した文献から治療プログラムを立案できる	テキスト、配布資料	該当箇所のテキストの読み、不明な点など事前に調べておく	
		各コマにおける授業予定	中枢神経障害の理学療法の実際(症例1)			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	担当症例の自立生活を支援するプレゼンテーションが行える	テキスト、配布資料	該当箇所のテキストの読み、不明な点など事前に調べておく	
		各コマにおける授業予定	中枢神経障害の理学療法の実際(症例1)(教員解説含む)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	症例提示より、必要な検査項目を列挙できる	テキスト、配布資料	該当箇所のテキストの読み、不明な点など事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	中枢神経障害の理学療法の実際(症例2)		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	検査測定結果より、重要課題の抽出とその理由が述べられる	テキスト、配布資料	該当箇所のテキストの読み、不明な点など事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	中枢神経障害の理学療法の実際(症例2)		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	課題解決のための資料・文献を収集することができる	テキスト、配布資料	該当箇所のテキストの読み、不明な点など事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	中枢神経障害の理学療法の実際(症例2)		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	集取した文献から治療プログラムを立案できる	テキスト、配布資料	該当箇所のテキストの読み、不明な点など事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	中枢神経障害の理学療法の実際(症例2)		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	担当症例の自立生活を支援するプレゼンテーションが行える	テキスト、配布資料	該当箇所のテキストの読み、不明な点など事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	中枢神経障害の理学療法の実際(症例2)(教員解説含む)		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	症例提示より、必要な検査項目を列挙できる	テキスト、配布資料	該当箇所のテキストの読み、不明な点など事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	中枢神経障害の理学療法の実際(症例3)		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	検査測定結果より、重要課題の抽出とその理由が述べられる	テキスト、配布資料	該当箇所のテキストの読み、不明な点など事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	中枢神経障害の理学療法の実際(症例3)		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	課題解決のための資料・文献を収集することができる	テキスト、配布資料	該当箇所のテキストの読み、不明な点など事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	中枢神経障害の理学療法の実際(症例3)		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	集取した文献から治療プログラムを立案できる	テキスト、配布資料	該当箇所のテキストの読み、不明な点など事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	中枢神経障害の理学療法の実際(症例3)		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	担当症例の自立生活を支援するプレゼンテーションが行える	テキスト、配布資料	該当箇所のテキストの読み、不明な点など事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	中枢神経障害の理学療法の実際(症例3)(教員解説含む)		